

「今、累犯障害者を考える」

～もうひとつの日本、塙の中と塙の外～

日本の受刑者の多くは何らかの障害をもっていると言われている。窃盗・無銭飲食等の軽犯罪を起こし、繰り返し刑務所に服役するケースが多い。刑期を終えても、家族や社会から受け入れられず、住む場所や生活費もなく、生きていきにくい困難さを抱えている。閉ざされた塙の中で何が起きているのか、山本譲司氏は体験からその実態を明らかにされている。

※累犯障害者とは虞犯・犯罪を繰り返す障害者のことです。



日時

2008年

2月23日 土

午後2時～5時45分 (開場午後1時30分)

場所

エル・おおさか【エル・シアター】
(大阪府立労働センター)

定員

800名

車椅子用席もあります。別途お問い合わせください。
また駐車場はございませんので車での来場はお断りします。

入場料

1,000円

(障害者・学生 500円)

チケット取り扱い/お問い合わせ先

ヒット (ゆめくらぶ) TEL/FAX (06)6773-8084
info@yume-club.jp

たびだち
出発のなかまの会 TEL (06)6758-6641
FAX (06)6758-6749
tabidati@oct.zaqa.ne.jp

主催 NPO 法人 精神障害者支援の会 ヒット

NPO 法人 出発のなかまの会

後援 大阪府・大阪市

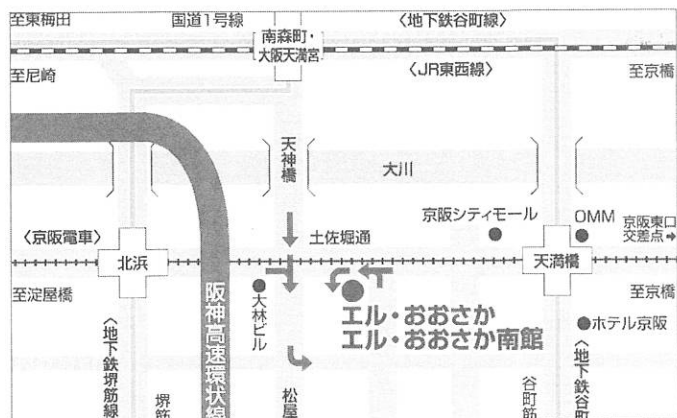
大阪精神科診療所協会

第一部 講演 山本譲司氏

1962年 北海道生まれ
早稲田大学教育学部卒、元衆議院議員
第3回「新潮ドキュメント賞」を受賞
主な著書に『獄窓記』(ポプラ社) 『塙の中から見た人生』(安部譲二氏との対談 カナリア書房)
『累犯障害者 獄の中の不条理』(新潮社)がある

第二部 シンポジウム

- ・辻川圭乃氏 (弁護士)
- ・中島直氏 (精神科医)
- ・山本譲司氏 (講演者)
- ・塚本正治氏 (NPO HIT 職員)



周辺地図 大阪市中央区北浜東3-14
地下鉄谷町線 京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m